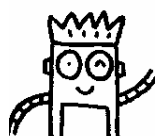


ほうじょうまさこ  
北条政子は、どんな人だったの



みなもとのよりともしまも 源頼朝 の死後、鎌倉幕府を守ることにつとめ、  
幕府を指揮して、「尼将軍」とよばれた人だよ。

北条政子は、1157年に、伊豆の豪族の北条時政の娘として生まれました。  
荒々しい東国の武士の家に生まれたことから、気の強い性格に育ったようです。2  
1歳のころ、父の反対をおし切って、伊豆に流されていた源頼朝の妻になり、男の  
子2人（頼家・実朝）と、女の子2人を生みました。

### 将軍がとぎれないように努力した

頼朝の死後、長男頼家が将軍になりました。しかし、18歳の頼家は、政治を行  
うには若すぎたので、政子は、13人の有力な御家人の会議によって、政治を行う  
ことにしました。これに不満をもった頼家が、異常な行動をとるようになると、時  
政と相談して、次男実朝を将軍につけ、頼家を伊豆の修禅寺にとじこめました（そ  
の後、頼家は暗殺された）。実朝が病弱で、子どもができなかったときは、京都に  
行き、後鳥羽上皇の皇子を、次の将軍にむかえる約束をしてきました。

### 実朝の死後、幕府を指揮して、「尼将軍」とよばれた

実朝が殺されると、上皇は皇子を出すことを、ことわりました。そのため、公家  
の九条家の頼経（頼朝の妹のひ孫）を、鎌倉にむかえたのですが、頼経はまだ2歳  
だったので、政子が育てながら、頼経に代わって政治を行いました。幕府方と朝廷  
方が戦った承久の乱（1221年）のときには、御家人を集めて、鎌倉方の団結  
をうったえる演説を行い、鎌倉方の大勝利を実現させました。政子はこのように、  
鎌倉幕府を守ることにつとめ、実朝の死後は、事実上の将軍として幕府を指揮した  
ため、「尼将軍」とよばれました。亡くなったのは、1225年です。

「朝廷方につくなら、まず私を殺し、鎌倉中を焼き  
払ってから行きなさい。」と演説したそうよ。

